泊崎・下岩崎・上岩崎

平安末期、小田城（つくば市小田）の一氏族が、岡見城（牛久市）を築き、岡見氏を名乗った。その支城が茎崎にも幾つか作られた。現在の富士見台団地には、かつて泊崎城があった。応永三年（1396年）、小田氏族の岡野康朝が築いた。泊崎大師堂①のある高台は、物見台跡ともいわれている。天正元年（1573年）、康朝の孫、岩崎勘解由（かげゆ）は小田氏に属して常陸太田の佐竹氏と戦い討死。その子孫は、貴船神社③近くに館を立て、土着したという。

泊崎大師堂（はっさきたいしどう）❶

平安初期に弘法大師（空海）が訪れて護摩修行した伝承がある。本堂は江戸中期再建。

ポックリ大師ともいわれ、供えた下着を身につけると長生きし、病気で患わず極楽往生できるという。縁結びの逆さ松、習字がうまくなる硯水など「弘法の七不思議」がある。つくば市の最南端で、茨城百景にも選ばれ、坂を下った七浦大明神あたりは初日の出の名所。

茎崎憩いの家❷

泊崎大師堂隣の市の休養施設。眺めの良い四十畳の大広間などがあり、市民は一日一人220円で利用できる。月曜定休。電話876・1125

貴船神社（きふねじんじゃ）❸

応永年間に、岡野康朝が山城国から雨を司る貴布禰神社を勧請した。丘の上にあり、近くに下岩崎館山貝塚が見られる。境内のシイの自然林は、茨城の自然百選の一つ。鳥居よこには茎崎最大の猿田彦命の石碑がある。

守徳寺（しゅとくじ）❹

天文三年（1534年）、岩崎勘解由が亡母の菩提を弔うために建造した。曹洞宗。かつて泊崎大師堂①に祀られていた弘法大師の像や、弘法大師が護摩修行の灰を混ぜて作った雨乞いのご利益があるという護摩の灰弁天像がある。

千勝神社（ちかつじんじゃ）❺

常陸と下総の国境の地に祀られ、室町時代に下妻市坂井へ遷座された千勝神社の別宮として昭和三十九年（1964年）に建立。道案内の神、猿田彦を祭神とする。高さ十メートルを超す木造の大鳥居は日本有数。

下岩崎の観音堂❻

天正十九年（1591年）、豊臣秀吉から牛久地方に領地を与えられた由良国繁（ゆらくにしげ）が岡見氏に代わり牛久城に入った。翌年、尼であった国繁の母が将兵の弔いとして領内に七観音八薬師を建てた内の一つとされる。エノキの大樹のそばの本堂は江戸前期に建立。

上岩崎の日吉神社（ひえじんじゃ）❼

応永三年（1396年）、疫病退散と五穀豊穣を願って比叡山から分霊を遷祀したという。山王権現とも呼ばれ、西谷田川の対岸のつくばみらい市野堀・神生との三村合同鎮守だったという。

二千間堤❽

江戸前期に、藤代の新田開発地を守るために築かれた堤防。江戸初期、幕府は東京湾に流れ込む利根川を常陸川（現在の利根川下流）に、小貝川と合流する鬼怒川を利根川に付け替える治水工事をして新田開発や水運整備を進めた。牛久沼も小貝川に放水するための八間堀が新旧二回開削された。

永作の舟渡（ながさくのふなわたし）❾

昭和八年（1933年）、木造の茎崎橋ができるまでは、渡し舟を船頭が竿をさしながら漕いでいた。今は、渡し場跡に解説板がたつ。

浮田跡（うきたあと）❿

浮田とは、沿岸に茂るイネ科のマコモ等を刈り取り、その上に泥を積み上げて作った湖面の水田。沼泥が肥料分となるが、田舟を使うため重労働で、水害に弱かった。江戸後期から始まり、沼面積の約3割まで広がったが、戦後の農地改革を経て昭和三十年代以降は使われなくなった。今は沿岸に痕跡を見ることができる。

ふれあいプラザ⓫

平成十七年に開設した生涯学習施設。3階にある展望室からは、北は筑波山、東に牛久大仏が見え、天気がよい日には富士山やスカイツリーも見える。隣接する茎崎運動公園は、サッカー場・野球場・テニスコート等がそろう。電話876・2311

小茎（おぐき）・六斗（ろくと）

永作の舟渡⑨の小茎側には「天神下の渡し場」があり、小茎の住民は岩崎地区を「島」と呼んでいた。六斗は、古くは小茎の一部で六斗蒔とも呼ばれ、7月下旬に行われる八坂神社⑫の祇園祭では、小茎から六斗へ向う山車の上で、郷土芸能「ひょっとこ踊り」が見られる。

小茎の八坂神社⓬

御神体のスサノオノミコトは、かつて上岩崎に祀られていた。気性が荒く、神社の前を村人が汚物をかついで通ると必ず桶の底がぬけたり転んだりする者が多いため困り果て、「ご利益あれば上に、ご利益なければ下に流れろ」と唱えながら沼に流したところ、突然の南風により対岸の小茎に流れ着いたという。小茎・六斗の鎮守として、江戸後期に現在の地に祀られた。境内には、茎崎村初代村長の小池幹三郎の頌徳碑がある。

茎崎こもれび六斗の森⓭

北欧からの輸入木材を使ったログハウス、通年利用できるキャンプ場、バーベキュー場などがある市の野外研修施設。電話876・5040

近くには農業体験ができる「六斗わくわく農園」もある。

貝層⓮

西谷田川に沿って六斗から若栗へ続くがけには、貝層が見られる。十数万年前の更新世の貝化石を含む地層が、六千年前頃の縄文海進により削られて出現した。

〆切の庄兵衛新田⓯

享保一二年（1727年）から三十七年間、牛久沼の全面干拓に挑戦した龍ヶ崎の豪農・桜井庄兵衛によって作られた新田の一つ。川沿いに堤防を築いて排水する計画だったが、度々の洪水と下流の村民の反対により中止となった。〆切（今の大字名は茎崎）は、堤防で閉め切る始点だったことに由来する。

高崎・菅間・天宝喜（あまぼうき）

現在の城山団地に、かつて高崎城があった。稲荷川と弥太郎地と呼ばれる谷津地を天然の堀とした高崎城は、岡見氏の支城として築かれた。団地北側に土塁・空堀の名残がある他、大手門跡の碑⓰が立つ。

岡見五郎兵衛供養塔⓱

天正十六年（1588年）、牛久城主・岡見五郎兵衛は、下妻の多賀谷氏と高見原で決戦し敗走、高崎城に向う途中で自刃した地に、後年、供養塔が立てられた。

成就院の子育延命地蔵尊⓲

戦国時代、小田家の命により牛久城主・岡見治資が本尊を安置した。子なき人に子を授け、病身にて育ち難きを健やかに成長させる御利益が伝えられ、江戸時代には牛久藩山口氏の寄進をうけた。

孝学院⓳

明応元年（1492年）創建。曹洞宗。江戸前期に中興。明治二二年（1889年）には、茎崎村議会が開かれた。ツバキの大樹がある。

高崎の八坂神社⓴

天正二年（1574年）に疫病退散を願い、山城国から分霊を遷祀したという。江戸前期に再建。旧号は牛頭天王。九月一九日の千度祭では、子どもが社殿を青竹でたたく民俗行事「がらがらせんど」がある。

大日塚㉑

茎崎第一小学校の校庭にある塚で、椎の巨木がたつ。郷中塚古墳群の一つで元は約十倍の大きさのある古墳だった。

高崎自然の森㉒

市が開放している森で、バードウォッチングや桜の名所として知られる。芝生広場や花畑、湧水のある池などがあり、林業体験や栗拾い企画なども行われる。電話883・1111（代）つくば市農業課

菅間の熊野神社㉓

建久二年（1191年）、紀伊国から分霊を遷祀したという。江戸時代、旗本となった由良氏の領地であった。高崎から月読神社㉚に向う道は、三夜街道とよばれ、石仏や祠が多く見られる。

厳島神社（天宝喜の弁天様）㉔

平安時代に創建。里人が見つけた「天の宝剣」を喜び祀ったことから「天宝喜」となったという伝承がある。江戸中期に再々建。九月九日の礼祭には独特の口上と花火があり、十月には収穫祭が行われる。社宝には護摩の灰弁天像もある。

高見原の金毘羅神社㉕

明治年間に高見原の開墾に貢献した四国出身の岡文太郎氏により祀られた。かつて高見原や稲荷原は広大な原野であった。

A
ホテルレイクサイドつくば
掛け流し天然温泉2011年夏オープン（予定）!!
ご宿泊、ご宴会、ご法事、スポーツ合宿など幅広くご利用頂けます。
屋外にはテニスコート、フットサルコート、ゴルフ練習場、屋外プール（夏季のみ）もございます。
つくば市下岩崎 708-1　☎876-5050

11
つくば市ふれあいプラザ
牛久沼ほとりに佇むきれいな生涯学習施設
9：00～22：00　月曜定休
つくば市下岩崎 2164-1　☎876-2311

B
六斗わくわく農園
地元の農家による講習会をうけながら
野菜作りを学びませんか？
オーナー制の落花生栽培もしています。
講習会：金曜日または土曜日の指定日
つくば市六斗 938-1　☎876-1222

C
農産物直売所なの花
新鮮　安全　安い、
地元の新鮮野菜がいっぱい
9：00～18：00、月曜定休
つくば市天宝喜　☎872-7087

D
（株）池辺食品製造直売店
契約栽培の落花生を
全て自社加工しております。
9：00～18：00　元旦のみ休み
つくば市茎崎 404　☎876-1213

市外局番は 029 です